



企業と生物多様性セミナー



第18回 企業が生物多様性に取り組む意義とは



日時

2017年
3月15日(水)
13時30分~16時15分

場所

千葉県立中央博物館 講堂
(裏面地図参照)

対象

県内に工場・事業所がある企業
70名 (参加無料)

主催

千葉県
一般社団法人 千葉県環境保全協議会
一般社団法人 千葉県経済協議会

申込・問合せ

事前申込制：千葉県生物多様性センター企業セミナー担当宛に下記内容を記載の上、メール又はFAXでお申し込み下さい。

締切り：3月10日(金) (必着)
Email hogo10@mz.pref.chiba.lg.jp
Tel 043(265)3601
Fax 043(265)3615

生物多様性に関する国際動向や、企業による取り組み事例を紹介しながら、企業が生物多様性に取り組む意義を再確認し、どのような取り組みが求められているのか、生物多様性に取り組むことでどのようなメリットがあるのか等を、株式会社レスポンスアビリティの武末克久氏に御講演いただきます。

セミナー内容

◆講演

企業は生物多様性にどのように取り組めばよいか

株式会社レスポンスアビリティ

武末 克久氏

※詳細は裏面をご覧ください。

◆報告

「生物多様性ちば企業ネットワーク」参加企業の取組紹介
各企業の広報・CSR担当者

「生命のにぎわい調査団・グループ団員」募集について
千葉県生物多様性センター 副主幹 御巫 由紀

第18回 企業と生物多様性セミナー申込書

会社名		業種	
連絡先	Tel	E-mail	
参加者の所属 職 氏名			

武末 克久 (たけすえ かつひさ) 氏

株式会社レスポンスアビリティ コンサルタント



九州大学大学院生物資源環境科学研究科修士、英国オックスフォードブルックス大学国際関係学専攻修士。製薬会社勤務を経て、株式会社レスポンスアビリティで企業による生物多様性保全のコンサルタント。生物多様性に関わる事業上のリスク分析、原材料調達方針の策定、持続可能性に配慮した農畜水産物調達支援、サプライヤーCSR調査支援、ABSリスク分析、サプライチェーン上のリスクの定量評価などを行う。

講演趣旨

昨年11月にパリ協定が発効した。このパリ協定の採択・発効を受けて脱炭素社会へのシフトが大きく進みだし、気候変動に対する企業の取り組みが加速している。また、非財務情報の開示が強く求められるようになるなど、環境の分野では企業を取り巻く状況が大きく変化している。このような動きは企業による生物多様性の取り組みにも影響を与えており、自然資本会計、持続可能な原材料調達、認証制度、森林破壊ゼロへのコミットメント、グリーンインフラなどのキーワードで表現されるような取り組みを推進する企業が増えている。

また、昨年12月にメキシコで開催された生物多様性条約第13回締約国会議（COP13）では、生物多様性の主流化が主要テーマとして議論されたが、ここでも企業の役割が強調された。企業に対する期待や要請はますます高まっている。

このような中、企業は生物多様性にどのように取り組めばよいか？ 今回の講演では、生物多様性に関する国際動向や、企業による取り組み事例を紹介しながら、企業が生物多様性に取り組む意義を再確認し、どのような取り組みが求められているのか、生物多様性に取り組むことでどのようなメリットがあるのかなどをお伝えする。

■ 会場案内図 ■**千葉県立中央博物館 講堂**

千葉県中央区青葉町955-2

TEL 043(265)3601

■ 事前申込制 ■

表面下部の必要事項を記載の上、千葉県自然保護課生物多様性センター企業セミナー担当宛に、メール 又は FAXでお申し込み下さい。

締切り：3月10日(金) (必着)

Email hogo10@mz.pref.chiba.lg.jp

Fax 043(265)3615



バス(千葉駅東口) 乗り場7「大学病院」「大学病院・南矢作」乗り場6「川戸都苑」 中央博物館下車徒歩7分
(蘇我駅東口) 乗り場2「大学病院」中央博物館下車徒歩7分

車利用の方は、青葉の森公園北口駐車場(4時間300円)をご利用ください。